○謎の部屋

男性「五角形の部屋。暗い部屋。そのドアが一つずつ付いてる。それぞれの形をした、ディースアンドジェントルメンよりの部屋に参レ。」

男性「ムロ屋ま声屋う声い。」

男性「少ロのし ̄のこ ̄る。」

男性「ルーのし ̄そ ̄レ。」

男性「ルーのし ̄そ ̄レ。」

男性「ルーのし ̄そ ̄レ

男性の声「西本和佳子、57歳。職業は現役のトレジャーハンター」

和佳子、クールな雰囲気で入って来る。

男性の声「最後は、コイツだ」

開きっぱなしの扉から、山村雅楽（17）、入って来る。

男性の声「山村雅楽、17歳。職業は学生、現役の高校生だ」

雅楽、テンション高めに入って来る。

男性の声「さぁ、それぞれの扉の前へ」

4人の挑戦者、それぞれの名前が表示された扉の前に立つ。

男性の声「制限時間は1時間。それでは開幕です！」

部屋の地面には10秒のタイマーが表示される。

秒数が減り始める。

それぞれの挑戦者、ドアの前で待ち構えている。

男性の声「5、4、3、2、1」

大きい開始音がなる。

男性の声「スタート！」

それぞれの挑戦者、扉の中に入る。

○大地の部屋（夜）

大智、入って来る。

目の前には、電気の点いていないビルがあり、4階にはジムがある。

○夏美の部屋（夜）

夏美、入って来る。

目の前には、会社の大きな建物がある。

○和佳子の部屋

和佳子、入って来る。

目の前は砂漠で、ピラミッドがある。

○雅楽の部屋（夜）

雅楽、入って来る。

目の前には、高校の校舎がある。

電気は全て消えているが、校舎の中では、懐中電灯を持った警備員が数人歩いてい

雅楽「高校？」

雅楽、校舎を見て、入って来た扉の方に振り返るが、扉は自動で閉まる。

雅楽、校舎を見て、小走りで入り口に向かっていく。

○

同・校舎・入り口（夜）

雅楽、小走りでやって来て、扉を開いて中に入る。

暗い廊下の奥から、光が近づいて来るのが見える。

雅楽、急いで靴箱の影に隠れ、息を殺す。

廊下の奥から警備員、歩いて来る。開いている扉に気づき、扉の方に向かう。

雅楽、警備員から見えないように靴箱の周りを這いながら、靴箱の靴を落としまう。

警備員、雅楽が歩いてくるが、雅楽に気付かず、扉の方に向かう。

雅楽、その隙に廊下を進んで行く。

○

同・同・1階廊下（夜）

雅楽、同、周りを気にしながら歩いている。

すると、廊下の先に、宝箱があるのが見える。

雅楽、小走りで宝箱に向かい、しゃがみ込む。ゆっくりと宝箱を開けると、中には特殊な装飾がなされた『1』と書かれた紙が入っている。

背後から、足音が近づいて来るのが聞こえる。

雅楽、急いで紙を手に取り、階段の方へ向かう。

○

同・同・2階廊下（夜）

雅楽、階段を登って来る。

廊下には、2人の警備員、徘徊している。

雅楽の目の前には職員室が見え、ガラス

窓から中に宝箱があるのが見える。

警備員は雅楽の方に向かって来る。

雅楽員、柱の裏に隠れる。

警備員、どんどん近づいて来る。

雅楽員、片方の靴を脱ぎ、廊下の逆の方に投げる。

雅楽、その靴の隙に懐中電灯を向ける。

雅楽員、職員室の中に入る。

○

同じ・同じ・職員室（夜）

雅楽・素早く入る。素早く動いて、台の上に置き、ゆっくり開く。宝箱を地面に置き、中にはいる。

雅楽は、紙先を箱ごと取り出す。

職員室内を見渡す。

雅楽は、紙をほどいて、中を見て、警備員が入ってきた。

コピー機の前に立ち、ゆっくりと、コピー機を操作する。

職員室の廊下を見渡す。

警備員、他の部屋を見てまわる。

雅楽、廊下の逆の方に戻る。

○

謎の部屋

地面に表示された、マーク。

雅楽、大量の紙（宝）を持った男性

雅楽、部屋の入り口に立ち、部屋を見渡す。

男性：「他人の部屋に来てはいけない。」

雅楽：「何で？」

男性：「ここは、雅楽の部屋。」

雅楽：「……驚いた。何で？」

男性：「……山村雅楽。」

雅楽：「……表情を見せる。」

男性：「……。」

雅楽：「……。」

男性：「……。」

雅楽：「……。」

男性：「……。」

雅楽：「……